

各市町村組合教育委員会教育長様
各 幼・保・こども園 園長様
各 小・中・高等 学校 長様
会 員 各 位

日本人権教育研究学会 会長 古橋エツ子

平成 30 年度 日本人権教育研究学会研究大会のご案内

21世紀の人権教育フォーラム

大会テーマ

- 性教育、何をどこまで教えるべきか？ -

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、このたび日本人権教育研究学会第 19 回研究大会（「21世紀の人権教育フォーラム」）を下記の要領により開催することとなりました。つきましては、会員の皆様をはじめ多数の先生方がご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 平成 30 年 8 月 9 日 (木)
2. 会 場 姫路大学
〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2 0 4 2-2 TEL 079-247-7301
3. 主 催 日本人権教育研究学会
4. 後 援 兵庫県教育委員会・兵庫県人権教育研究協議会
(公財)兵庫県人権啓発協会・兵庫県市町村教育委員会連合会
5. 大会テーマ 性教育、何をどこまで教えるべきか？

6. 日 程

9:30	10:00	12:00	13:30	16:30
受付	研究発表 (第1分科会:203) (第2分科会:204)	昼 食 理事会(207) シンポ打合せ(206)	シンポジウム (203・204)	

7. 問い合わせ先

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2042-2 姫路大学 和田幸司研究室気付
日本人権教育研究学会事務局
e-mail hrerclerk@gmail.com

===== 大会スケジュール(午前) =====

■ 研究発表 10:00～12:00

[第1分科会] 講義室 203

司会 小南浩一(兵庫教育大学)

10:00～10:40

- (1) 第一次部落解放教育計画にて提示された「反差別の論理」の必然性—日本教職員組合教育制度検討委員会報告批判という文脈に着目して—

板山勝樹 (名桜大学)

10:40～11:20

- (2) K市の同和教育の検証—部落出身青年の語りを通して—

岡本昌人 (大阪市立大学大学院)

11:20～12:00

- (3) 小学校における「単位社会集団」を中心概念とした近世身分学習の展開

和田幸司 (姫路大学)・有吉理恵 (たつの市立龍野小学校)

岩本剛 (たつの市立小宅小学校)・柿本亜津子 (たつの市立小宅小学校)

[第2分科会] 講義室 204

司会 津田 博 (姫路大学)

10:00～10:40

- (1) 子どもの人権感覚と学校での学習に関する意識の関係

—小・中学生の違いに着目した量的分析より—

濱元伸彦 (京都造形芸術大学)

10:40～11:20

- (2) 特別扱いを許さない日本の学級で、特別扱いしなければならない教師のストーリー：日本におけるインクルーシブ教育というアポリア

原田琢也 (金城学院大学)

11:20～12:00

- (3) 教員養成系大学における LGBT 当事者・ALLY 学生の自主活動支援

神村早織 (大阪教育大学)

===== 大会スケジュール(午後) =====

■ シンポジウム 13:30~16:30 講義室 203・204

司会：宍戸 圭介（岡山商科大学）

【テーマ】 性教育、何をどこまで教えるべきか？

【趣旨】

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成 10 年法律第 114 号)に基づいて行われる「感染症発生動向調査」からは、性感染症報告数が(淋菌感染症を除いて)増加傾向にあることが伺える。特に梅毒の報告数は、2000(平成 12)年に男女合わせて 759 件であったものが 2016(平成 28)年には同 4,559 件と急増している(朝日新聞 2017 年 1 月 21 日 5 面)。なかでも女性は 20 代前半の罹患者が多く、若年層での性感染症の蔓延について対策が求められている(国立感染症研究所「日本の梅毒症例の動向について(2018 年 4 月 4 日現在)」<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/syphilis/2018q1/syphilis2018q1.pdf>)。

性感染症を避けるには、正しい知識を持ち確実な予防法を実行することが必要であろう。それでは、このような知識はどこで獲得するものであろうか。感染症予防が一人一人の個人の健康維持・増進みならず、公衆衛生という国家的施策としても行われていることを鑑みれば、公教育における性教育もまた、そうした知識を享受する場として予定されるだろう。しかしながら、そこで「性交」を教えずして、どう「避妊」や「性病」、そして「中絶」についての正しい知識を獲得することができるのだろうか。

「性交」を教育現場で扱うことについては、古くから議論があったところである。性器の模型を用いる等の独自の性教育が問題となった七生養護学校事件は、最高裁まで争ったこともあり、つとに有名である。また、本年 3 月には、A 区の中学校で行われた性教育において「性交」や「避妊」という言葉を扱ったことが問題視され、都教育委員会が(A 区の教育委員会へ)介入するという事態が生じたと報じられている(読売新聞 2018 年 4 月 7 日 29 面など)。

そうした今だからこそ、本シンポジウムでは問いたい「子どもたちの性教育を受ける権利を奪っていないだろうか?」「性教育、何をどこまで教えるべきか?」と。2009 年にユネスコが中心となって作成された『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』では、人権を基軸とした性教育が提案されている。人権を基軸とした性教育の具体的な内容、とりわけ、「性交」の問題をどこまで、そしてどうやって教えるべきか。今回この問題について考えるにあたり、3名のシンポジストより、それぞれ別の切り口から検討を及ぼしたい。

まず、①教育行政と教育現場との問題。具体的には、A 区の実践をふまえて、学習指導要領が現場の性教育に及ぼしている状況や上述のユネスコのガイダンス等にふれつつ、人権教育としての性教育の位置づけを呈示する(良報告)。続いて、②中学生を対象として、実際に「セックス(性交)」の言葉を用いて性教育を行ってきた実践報告を行う(杉山報告)。ここには、教育行政と専門家(職能団体)との関係についても、若干のコメントが含まれる。さらに、これまで(女子に比べて)話題の少なかった節のある③男子への性教育の実践報告を予定している(佐保報告)。ここでは、性教育の内容について、専門家と教員(教育現場)との間に交わされたやり取りにも着目する。最後に、これからの性教育のあり方について、フロアと意見交換の場を持ちたい。

【シンポジウム時程】

シンポジウム趣旨説明	13:30~13:35	
シンポジスト報告	13:35~14:05	良 香織 (宇都宮大学)
	14:05~14:35	杉山 泰子 (鈴鹿医療科学大学)
	14:35~15:05	佐保美奈子 (大阪府立大学)
		休憩 (15分)
ディスカッション	15:20~16:20	
まとめ	16:20~16:30	

8. 参加申し込み・参加費

大会参加希望の方は、7月26日(木)までに、入力フォームにしたがいE-mailにて送信ください。なお、参加費は3000円です(研究大会要旨集録を含む)。当日会場にて徴収します。おつりのないようにご協力をお願いします。なお、当日の参加も受け付けておりますが、会場準備の都合上、可能な限り事前申込みをお願いします。研究大会終了後に懇親会(トラットリア・マーレ(姫路市大塩町汐咲 1-21))を行います。参加費は5000円です。こちらも併せて参加の有無をお知らせください。

<E-mail 入力フォーム>

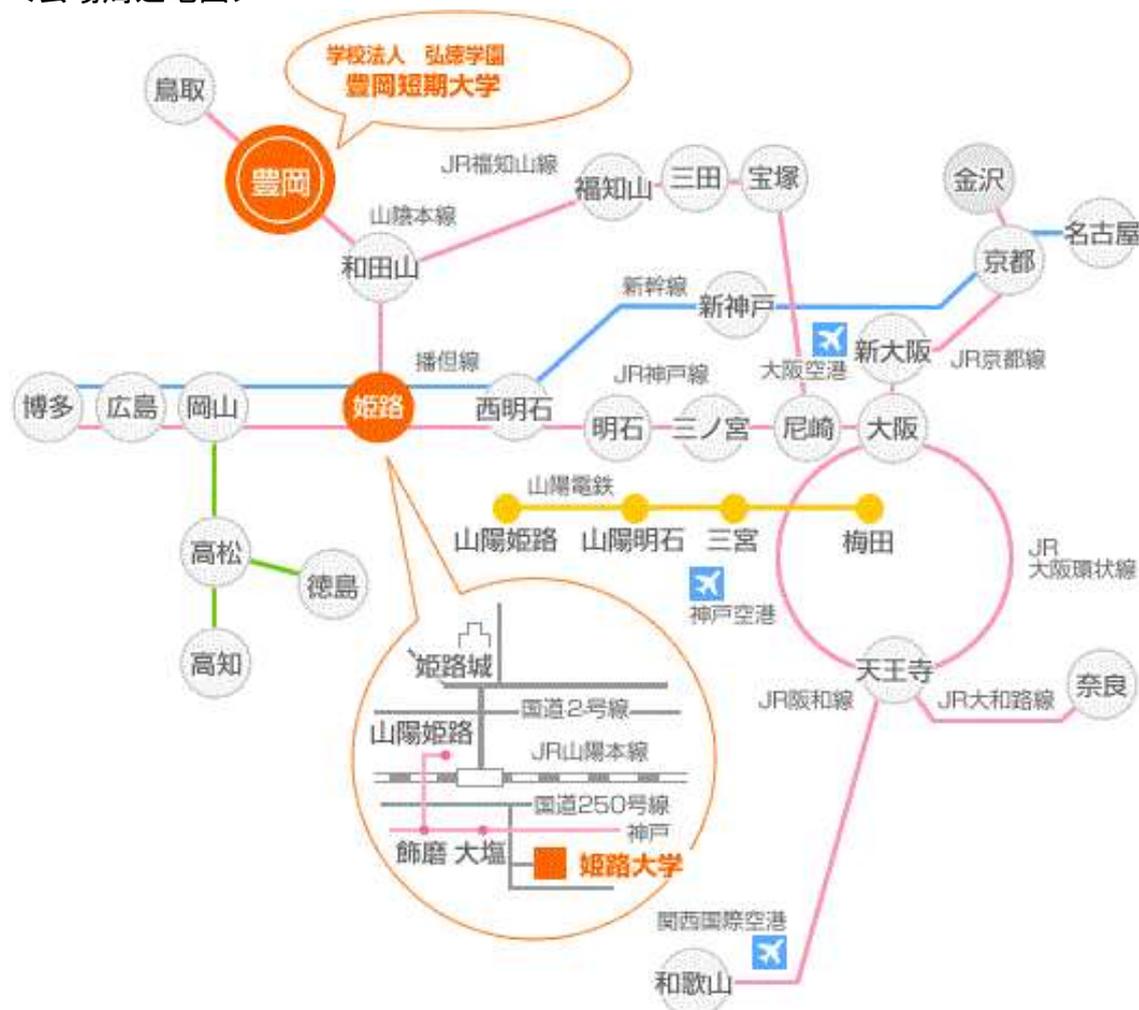
【件名】フォーラム参加申込 【本文】①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無
<申込送信先>

岡山大学 小河達之：E-mail (jahrer@okayama-u.ac.jp)

- ・開催に際して連絡をする場合がありますので、上記アドレスから受信ができるように設定をお願いします。

9. 会場へのアクセス

<会場周辺地図>



山陽電鉄「大塩」駅下車、徒歩約8分。またはスクールバスで約1分。
※山陽電鉄「大塩」駅へは「山陽姫路」駅より直通特急で約10分。
姫路大学の最寄り駅は山陽電鉄「大塩」駅です。